

現地のフィールドへ行ってみないと判らぬ「南郷 (なん→ごう→)」と「南郷 (なん↗ごう↘)」

***** 忘れかけていた言葉のマジック *****



南郷のランドマーク 袴腰山から見る近江湖南の南郷とその背後琵琶湖

2009.8.1. by Mutsu Nakanishi

近江湖南 琵琶湖からの淀川の流れ口が「南郷洗堰」。

「『南郷 (なん↗ごう↘)』の洗堰へ行ってきた」というと家内がおかしい顔をする。

「『南郷 (なん↗ごう↘)』とは言わない。『南郷 (なん→ごう)』や。

『南郷 (なん↗ごう↘)』と言うからどこへ行ってきたのかと思った」という。

そう言えば JR 石山駅で「『南郷 (なん↗ごう↘)』への路線バスを訊ねたとき

一瞬 怪訝な顔をされた記憶がある。

よく言われるのは「橋(はし↘)」と「端(はし→)」 「箸(はし↗)」。

そのイントネーションをしっかりと覚えないと違った意味になってしまう。また、その地方・地方でそのイントネーションが変わる場合もあるという。でも「はし 橋・端・箸」のいずれもが 異界をつなぐものとしての意味をゆうし、そのルーツは同じかもしれない。

奈良県御所市 葛城山・金剛山の東の山懐 古代葛城氏の本拠地の「南郷」は「南郷 (なん↗ごう↘)」

滋賀県大津市 淀川の流れたし口「南郷」は『南郷 (なん→ごう→)』である。

どちらも古代 朝鮮半島から数多くの渡来人・製鉄技術者がやってきた地であり、「南郷」の地名そのもののルーツは同じなのかもしれない。

滋賀県出身の仲間に聞くとやっぱり

「南郷洗堰は『南郷 (なん→ごう→)』や。『南郷 (なん↗ごう↘)』では通じない」という。

また、故郷では それを実に良く観察しているとも…………。

言葉を通じて、意思疎通を図り、文明文化を育んだ。

そして、発せられる言葉ばかりでなく、そのイントネーションにも、真実読み取り仲間・親しみを意識するという。島国で 多くの異文化との接触が少なかった日本人は特にその感性が強い。

最近 忘れかけていた言葉のマジックに気がついた「南郷」のイントネーションでした。



琵琶湖の水の調整弁 瀬田川 南郷の洗堰

★ やっと衆議院が解散されて総選挙。

今度ばかりは きっちりとした世の流れをリードしてくれる人たちを選びたいもの。

付け焼刃・短絡的な発想や揚げ足取りの政治には もう飽き飽き。これではこの厳しい変革期は乗り切れまい。

棒読みや言葉の羅列にだまされないうで、自分の発想を持ち、道筋を語れる人を選びたい。

マニエリストとは本来 具体的な道筋をしっかり具体的に語るはずのもの。しっかりと道筋を語ってもらわねば…………。

マスコミがちやほやする最近の声高に伝えられる「地方分権」論にも もろ手を挙げて賛成しかねる。

その人たちの物言いを良く聞くと何のことはない目の上のたんこぶを取り除いて、自分たちがそれに取って代わる。
体質はやっぱり 中央集権・権力志向。「道州制」への論議にはそんな鎧が見え隠れ。眼くらましの感じがしないでもない。
「地中央集権から地方分権」で変えてほしいのは「首」ではなくて「視点・目線」。
上からの切捨て目線から ともに共生する融和現実路線への目線変更が必要なのですが……。

★ 今 変革の混乱の中で「貧困・病気・介護」など数々の困難に見舞われている人が数多くいる。
企業一辺倒をはずし、波及効果ではなく、多少の不公平がでて、数々の困難に見舞われているそんな人たちの生活の改善への
ダイレクトな道筋や施策の実現が必要ではないか?? それを、みんなで支える痛みではないか??
企業救済・支援が生活改善へ回らない現実 それこそダイレクトに個人・商店・中小企業へ舵をきっても良いのではないか??
大企業救済やばら撒き施策で使った金の大きさを考えると一度は下から投入して、やったことのない波及を考えも許されるのでは
ないか?? そんな コンセンサスはないか????と。

「南郷 (なん→ごう→)」と「南郷 (なん↗ ごう↘)」 から 最近のニュースを見聞きするにつけ、
そんなことを思い浮かべています。